

県図なう。

令和4年5月15日
第134号(毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者を結び情報紙です。 鹿児島県立図書館

ホットニュース

資料検索で読みたい本を探そう!



県立図書館には利用者端末が設置されており、お探しの本を検索することができます。また、図書館の外からでも、インターネットを活用して、蔵書検索等を行うこともできます。このように、オンラインで図書や雑誌を検索できるシステム(OPAC)は、読みたい本を探す際にとっても便利な機能です。さらに、県立図書館のホームページの蔵書検索→資料紹介には「テーマ別資料」を検索できる場所があり、令和4年版鹿児島の高中生が薦める本をはじめ、直木賞受賞作や芥川賞受賞作、本屋大賞ノミネート作品などの中から読みたい本を探ることができます。館内の利用者端末では、トップページから「テーマ別資料」を選択することで同様に検索できます。他にも、図書館の利用の仕方や本に関する情報など、知りたい情報を得ることができると思いますので、ぜひ、活用してください。

- 【テーマ別資料】
- ▶ 令和4年版 鹿児島の高中生が薦める本
 - ▶ 直木賞受賞作
 - ▶ 芥川賞受賞作など

図書館で探そう、調べよう! ~見付かる喜び~

調査相談のカウンターでは、「館内の検索機で探してみたけれど、どうしても見つからない」という相談がよくあります。図書館の検索システムはインターネットでの検索と違い、ひと文字違っていると、うまく出てきません。「て」、「に」、「を」、「は」が違うだけで検索結果から除外されてしまう、ということがよくあります。我々図書館に勤務している職員は、検索の際に利用者が求める本が検索システムに除外されないよう、様々な工夫をしています。まず基本的には、単語をスペースで区切って検索をします。これによって、助詞の間違いにより検索結果から除外されることを防ぎます。それでも出てこない場合、単語の数を減らしてみたり、ひらがなにしてみたり、あえて漢字にしてみたり、時にはインターネットの検索に頼ってみたり……、思い付く限りの方法で検索を試みます。なかなか見付からなかった本をようやく見付け、利用者の方が喜んで帰って行かれる姿を見るのが日々の喜びです。ところで先日、『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』(福井県立図書館/編著 講談社)という本が出版されました。図書館が日々どのような問合せに対応しているかを知ることができる本です。クスツと笑える覚え違いが満載ですので、ぜひ読んでみてください。

- | | |
|---|--|
| <p>《一般図書》5月13日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『ちばあきおを憶えていますか』 千葉 一郎/著 集英社 ○『水中考古学』 佐々木 ランディ/著 エクスナレッジ ○『齋藤孝の冒頭文de文学案内』 齋藤 孝/著 柏書房 ○『名医が教える飲酒の科学』 葉石 かおり/著 日経BP ○『幸村を討て』 今村 翔吾/著 中央公論新社 | <p>《児童図書》5月22日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『ことりになったら』 ひら てるこ/作・絵 岩崎書店 ○『げたばこかいぎ』 村上 しいこ/作, 高島 那生/絵 PHP研究所 ○『10歳からできる自分のあたまで考えること』 どう解く?制作委員会/著, QuizKnock/著 ポプラ社 ○『お江戸子ども捕物帳』 天沢 彰/作, 水野 ぷりん/絵 文研出版 ○『稔と仔犬 青いお城 遠藤周作初期童話』 遠藤 周作/著 河出書房新社 |
|---|--|

催し物の御案内

- 一般閲覧室ミニ展示
5月1日(日)~5月31日(火)
「お困りごとをお助けします」展
ちょっと人には相談しづらいあれこれ。そんな時には図書館に来てみませんか。展示本が助けてくれるかもしれません。
- 6月1日(水)~6月30日(木)
「天文館図書館と県立図書館」展
新しくできた鹿児島市の天文館図書館とのコラボ企画!それぞれの魅力を御紹介します。
- 児童文化室ミニ展示
5月22日(日)~6月22日(水)
「環境について考えよう」展
雨が多くなるこれからの季節。6月は環境月間でもあります。川や海をはじめ、身の回りの環境について一緒に考えてみましょう。

図書館職員のつぶやき

県立図書館に赴任し、約1か月半が過ぎようとしている。蔵書の多さや毎週水曜日の読み聞かせ等の図書館事業など、毎日が驚きと感動の連続である。最近、特に感じるのは、児童文化室を利用される親子の温かさである。親子で穏やかに絵本を選ぶ姿や優しい言葉で交わされる会話からは、親子の愛情や本に対する愛情が感じられ、自分まで優しい気持ちになる。それと同時に、息子が幼い頃、ここに来ていれば……と、後悔の念も湧いてくる。一日の終わりに読み聞かせをしながら寝かしつけようとしても、息子は話に夢中になりすぎて目を覚ますため、私の方が先に寝てしまうことが多く、いつしかやめてしまった。そんな息子ももう23歳。数年後に会おうかもしれない孫への読み聞かせで挽回できるよう、温かく穏やかに、本のすばらしさについて学んでいきたいと思う。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、みやにし たつや/作・絵の『おかあさん だいすきだよ』(金の星社)です。ぼくは、この本を読むと、優しい気持ちになります。それは、お母さんが怒るのは、ぼくたちのことが大好きだからだということが分かるからです。この本みたいに、ぼくもお母さんとおふとんで話すのが好きです。楽しかったことも悲しかったことも、お母さんは全部聞いてくれて、「がんばったね。」と抱きしめてくれます。



図書館クイズ

にじいろのほん『のせて のせて』
まつたに こぶん どうこう しけい え どうしんしゃ
松谷みよ子/文 東光寺啓/絵 (童心社)
からのクイズです。

まこちゃんの じどうしゃに いちばんに
のったのは だれかな?
①うさぎ ②くま ③ねずみ

ヒント
ぴよん ぴよん!

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、6月14日(火)までに投入してください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。前回の答えは「③ぴあのこうじょう」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
5月	15	16	17	18★	19	20	21◆
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	1★	2	3	4
6月	5	6	7	8★	9	10	11
	12	13	14	15◆	16	17	18◆
	19	20	21	22★	23	24	25

- 開館時間 火曜日~土曜日:9時~21時
日曜日・祝日(白塗):9時~17時
- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時~17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分~16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時~)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(5月31日,6月15日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(5月22日,6月23日予定)
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。